鳥取県の地震

２０２４年（令和６年）７月
鳥 取 地 方 気 象 台

目　　次

（１） 鳥取県とその周辺の地震活動
震央分布図及び断面図、概況 …… 1
震源リスト（M2.0 以上） …… 1
（２） 鳥取県内で震度１以上を観測した地震
震度のリスト …… 2
震度分布図 …… 2
（３） 地震・津波の知識
「気象業務はいま 2024」 …… 4

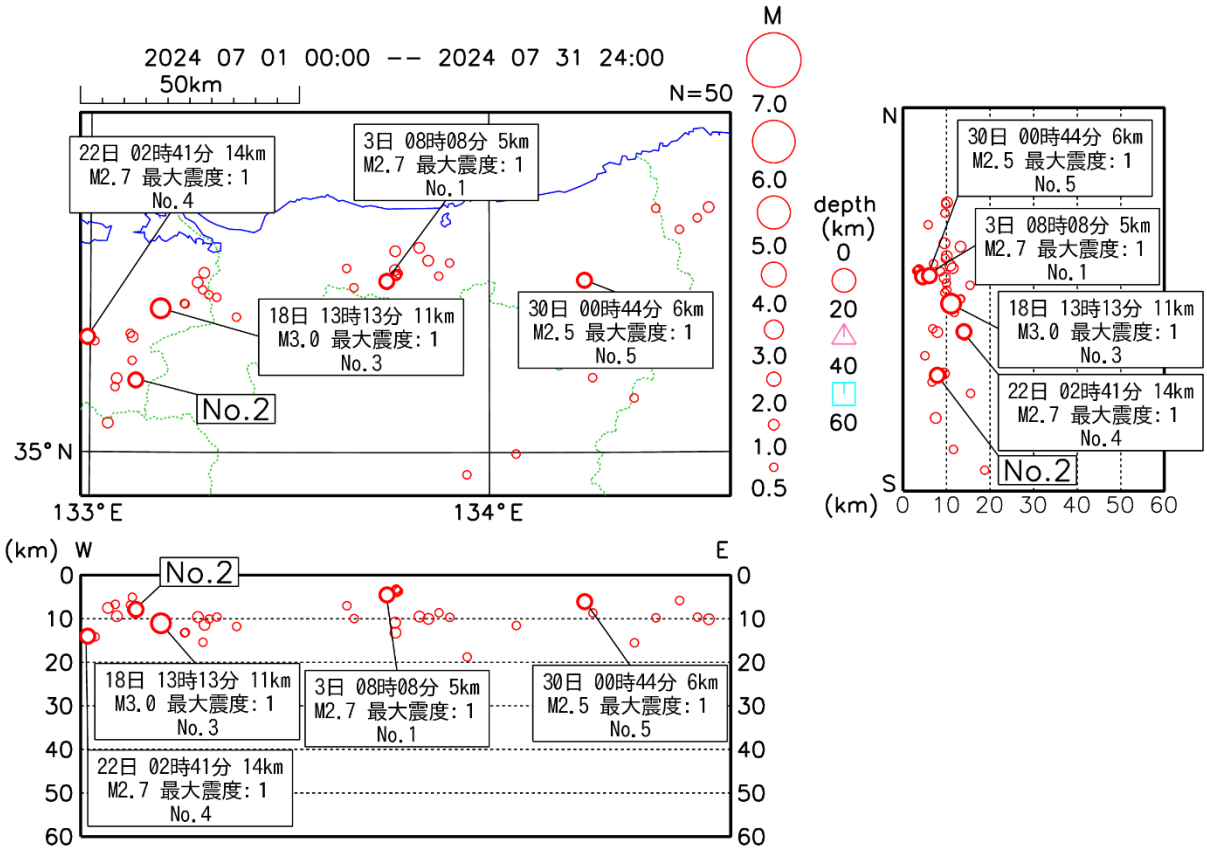
・　本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。
　また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS） の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

・　本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

＊　広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。
大阪管内地震活動図ＵＲＬ　https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html

（１）鳥取県とその周辺の地震活動

［震央分布図・断面図］



［概　況］

2024 年７月に鳥取県内の震度観測点で震度１以上を観測した地震は３回（前月は２回）でした。

３日 08 時 08 分 鳥取県中部の地震（深さ 5km、M2.7）により、鳥取県倉吉市、岡山県真庭市で震度１を観測しました。

18 日 13 時 13 分 島根県東部の地震（深さ 11km、M3.0）により、鳥取県境港市・日野町・南部町、島根県松江市・安来市で震度１を観測しました。

30 日 00 時 44 分 鳥取県東部の地震（深さ 6km、M2.5）により、鳥取県鳥取市・八頭町で震度１を観測しました。

上記震央分布図内において、M2.0 以上の地震は５回（前月は２回）でした（番号は震源リストに対応）。

なお、22 日 02 時 41 分に発生した地震（上図の No. ４）は島根県でのみ震度が観測されています。

［震源リスト(震央分布図内のM2.0 以上の震源リスト)］

期間　：2024 年７月１日 00 時 00 分～2024 年７月 31 日 24 時 00 分

緯度　：34° 55’ ～35° 45’ N　　経度　：133° 00’ ～134° 40’ E

深さ　：0 km～60 km

No.	発震時（年 月 日 時 分）	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニチュード	最大震度
1	2024 年 07 月 03 日 08 時 08 分	鳥取県中部	35゜21.1’N	133゜44.5’E	5	2.7	1
2	2024 年 07 月 11 日 11 時 24 分	島根県東部	35゜ 8.8’N	133゜ 6.8’E	8	2.0	－
3	2024 年 07 月 18 日 13 時 13 分	島根県東部	35゜17.7’N	133゜10.5’E	11	3.0	1

4	2024年07月22日02時41分	島根県東部	35°14.2'N	132°59.5'E	14	2.7	1
5	2024年07月30日00時44分	鳥取県東部	35°21.2'N	134°14.3'E	6	2.5	1

（２）鳥取県内で震度１以上を観測した地震

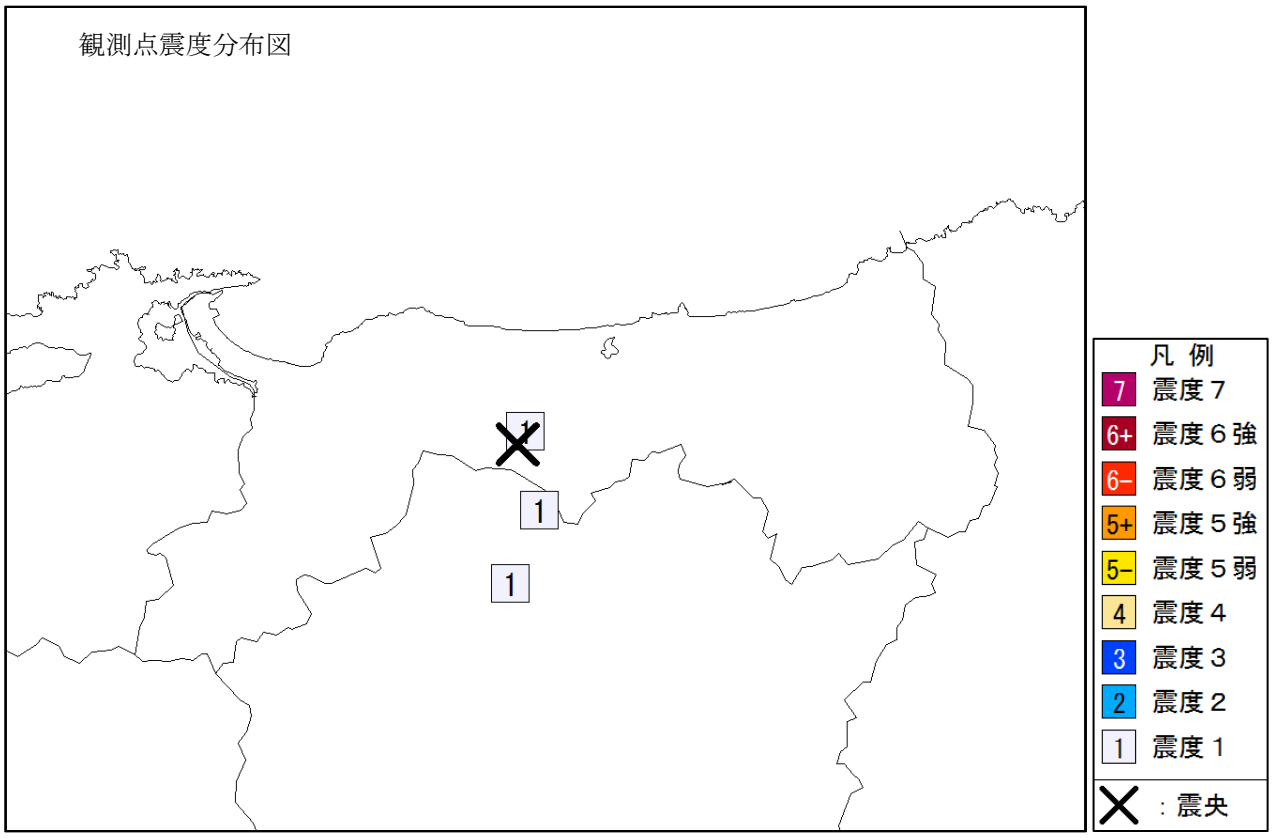
［鳥取県内で震度１以上を観測した地震及び震度のリスト］

発震時（年 月 日 時 分）	震央地名	北緯	東経	深さ	ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ
2024年07月03日08時08分	鳥取県中部	35°21.1'N	133°44.5'E	5km	M2.7
---------- 地点震度 ----------					
鳥取県　震度　1 ： 倉吉市関金町大鳥居＊					
2024年07月18日13時13分	島根県東部	35°17.7'N	133°10.5'E	11km	M3.0
---------- 地点震度 ----------					
鳥取県　震度　1 ： 境港市東本町,鳥取日野町根雨＊,鳥取南部町法勝寺＊,鳥取南部町天萬＊					
2024年07月30日00時44分	鳥取県東部	35°21.2'N	134°14.3'E	6km	M2.5
---------- 地点震度 ----------					
鳥取県　震度　1 ： 鳥取市用瀬町用瀬＊,鳥取市河原町渡一木＊,八頭町郡家＊,八頭町船岡＊					

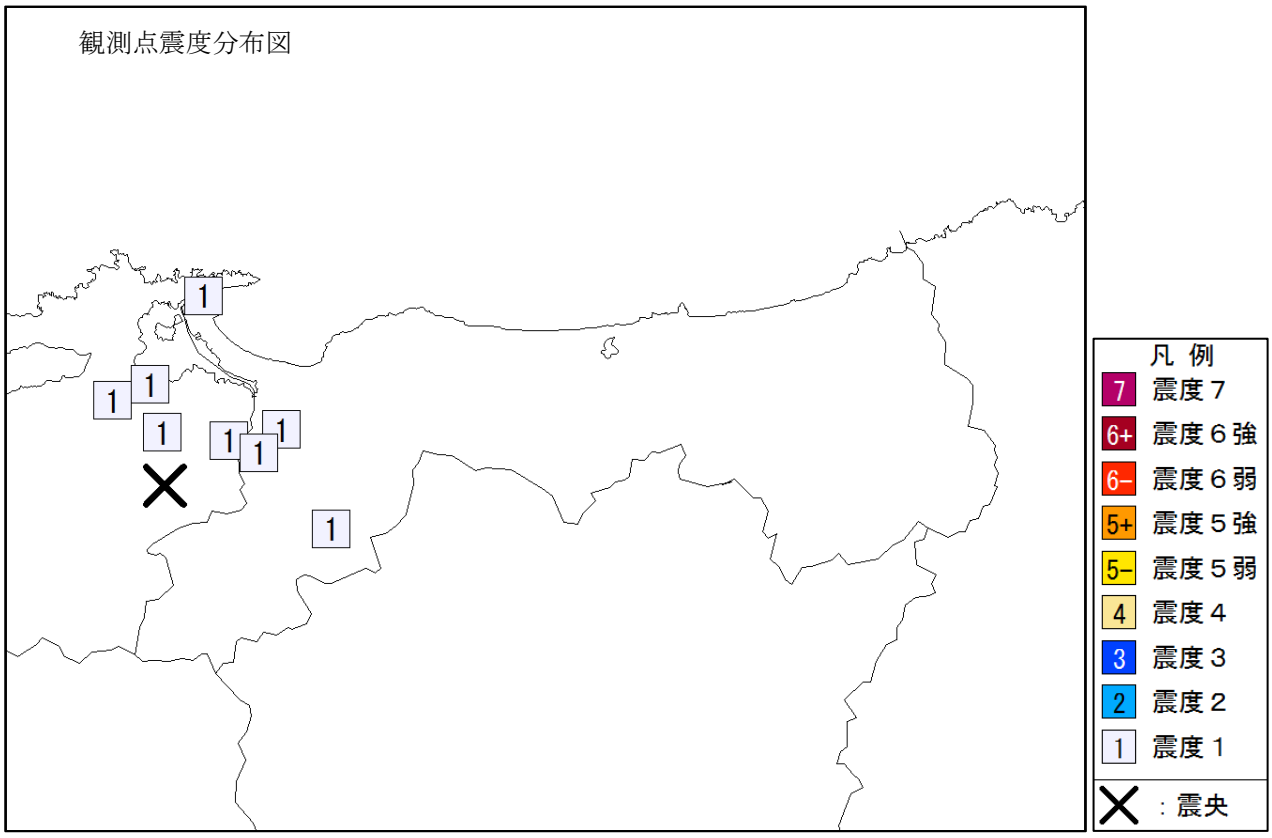
・＊印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

［鳥取県内で震度１以上を観測した地震の震度分布図（図中×は震央）］

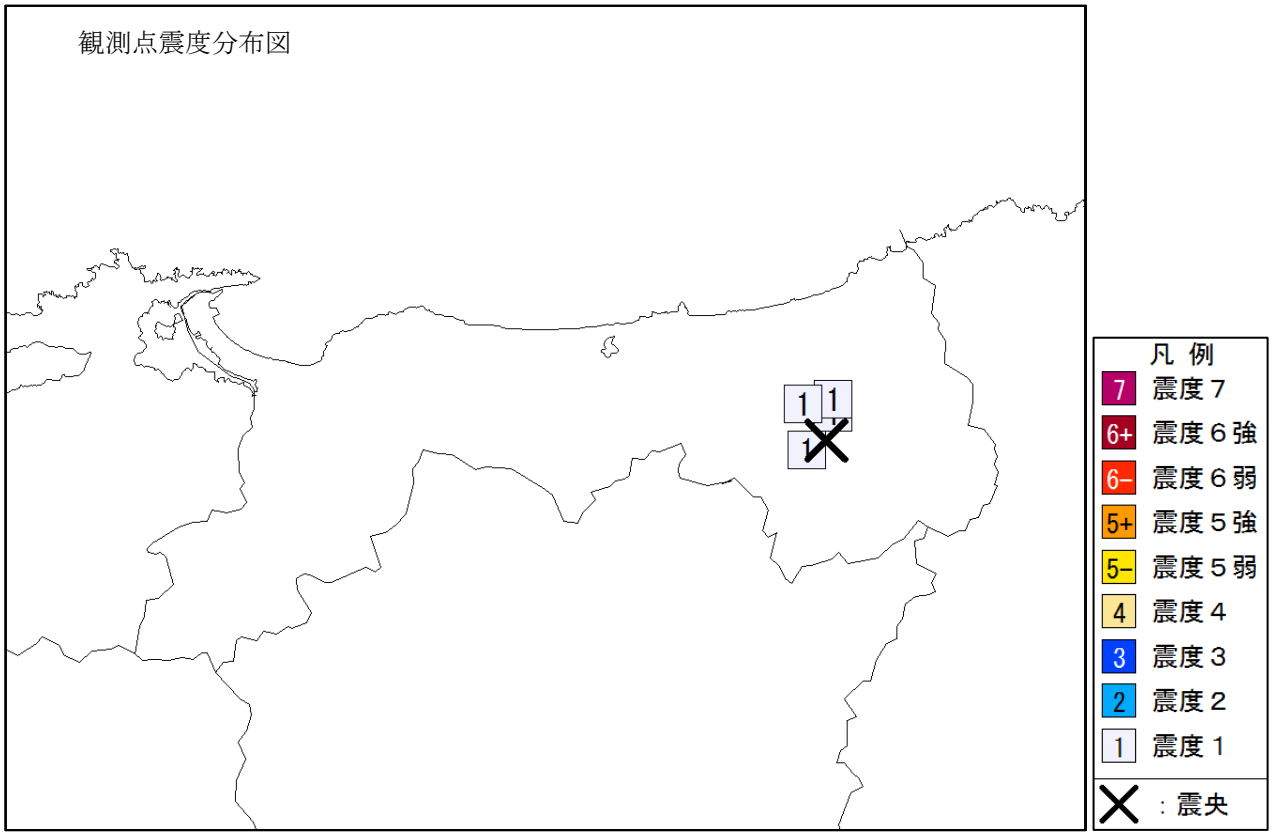
2024年07月03日08時08分　　鳥取県中部



2024 年 07 月 18 日 13 時 13 分　　島根県東部



2024 年 07 月 30 日 00 時 44 分　　鳥取県東部



（３）地震・津波の知識

「気象業務はいま 2024」

～気象記念日（６月１日）にあわせ「気象業務はいま 2024」を刊行しました～

気象記念日は、明治８年（1875 年）６月１日に気象庁の前身である東京気象台において業務を開始したことを記念して、昭和 17 年（1942 年）に制定されました。
来年（2025 年）は、気象庁の前身である東京気象台が観測業務を開始して以来、150 年の節目を迎えます。

気象庁の取組の現状と今後の展望など、気象業務の全体像について広く国民の皆様に知っていただくことを目的に、毎年６月１日の気象記念日にあわせ「気象業務はいま」を刊行しています。

地震分野では、特集として令和６年能登半島地震の概要や気象庁の対応状況をまとめています。また、トピックスでは「巨大地震対策」として、南海トラフ地震や日本海溝・千島海溝沿いで発生する地震を網羅的に解説し、その普及啓発の取組を紹介しています。令和５年度に実施した巨大地震対策オンライン講演会では、津波災害の特徴や短周期・長周期地震動での高層建物の揺れ方など、各分野における専門家の知見が報告されました。録画リンク先が掲載されていますので、是非ご活用ください。

「気象業務はいま 2024」目次抜粋

特集２　令和６年能登半島地震
（１）　一連の地震活動
（２）　緊急地震速報や津波警報等の発表
（３）　現地調査
（４）　臨時の津波観測装置の設置
（５）　JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣

トピックスⅢ－１　巨大地震対策
（１）　南海トラフ地震とは
（２）　「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用から１年
（３）　緊急地震速報の発表基準に長周期地震動階級を追加
（４）　巨大地震対策に関する普及啓発の取り組み
（５）　令和５年度　巨大地震対策オンライン講演会

地震関係以外にも、地球温暖化や線状降水帯など、気象庁が現在力を入れて取り組んでいることを解説し、また様々な分野の方から寄せられたコラムも掲載しています。是非ご覧ください。

「気象業務はいま 2024」は、気象庁ホームページからダウンロードできます。

→ ホーム ＞ 各種申請・ご案内 ＞ 刊行物・レポート＞ 気象業務はいま 2024

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/hakusho/2024/index.html

はれるんは、誕生
20 周年を迎えます

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和６年７月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

ＵＲＬ　https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/

問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：０８５７－２９－１３１３